

～省エネで経営力アップ～

Vol.5 運輸業編



配送業務の効率化で燃料費削減、CO₂削減 環境にやさしい安全運転!



オフィス・
事務所

ホテル・
旅館・
宿泊業

製造業

飲食業

小売業

運輸業

県内のエネルギー動向 (運輸部門)

2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みであるパリ協定を踏まえた日本の中期目標は、2030年度の温室効果ガスの排出を、2013年度の水準から26%削減すると定めています。この目標を達成するために、運輸部門としてはマイナス1、607キロリットル程度の徹底した省エネ対策を行うことが求められています。県内の同部門における2017(平成29)年度CO₂排出量は、対前年度比で376・1万トン(マイナス0・3%)とほぼ横ばいで推移し、県内総排出量に占める構成比は32・5%と部門別では最も大きくなりました(沖縄県地球温暖化対策実行計画進捗管理報告書(令和2年3月))。

運輸業向けの 省エネ対策

運輸部門の省エネ対策としては、エコドライブの取組やエコカーの導入、配送ルートの効率化による燃料の削減などが挙げられます。省エネを実現することはコスト削減にも寄与しますが、お客様にストレスを与えない送迎サー

ビスや集配サービスを提供することも大きなポイントです。

① エコドライブのすすめ

運輸業における省エネ対策の基本として、営業車などのエコドライブとアイドリングストップが挙げられます。燃料消費を少なくするには、走行特性に応じた適切な運転操作をする必要があります。都市部での走行と燃料消費割合を比較すると、発進が38%、巡航が35%、減速が8%、停止が19%となっていることから、ふんわりアクセルでスタートし、一定の速度を保ち、早めにアクセルを放し、慣性走行を行うことで、エコドライブにつながります。また、駐停車では確実にアイドリングストップを実施することで燃料消費量を削減することができます。

② タクシー業界の事例

タクシー業界では、省エネ運転の講習会やハイブリッド自動車の導入が進んでいます。最近では、スマホを利用したアプリを通してお客様から一番近い空車を効率よく配車するサービスを提供しています。

③ 宅配業界の事例

一方、宅配業界では、ネット通販の利用者数増加などにより、再配達などを含めた宅配便の取扱量が増加し、業界の課題となっていますが、エリアご

との効率的な集配を行うことでCO₂排出量の削減のみならず、車両台数の抑制も同時に達成しています。また、宅配物のコンビニ受取りなど、お客様のニーズにあわせた集配方法の多様化による、サービスの充実がうかがえます。

④ 県内運輸業の皆様へ

県内では運輸部門のCO₂排出量が最も多くなっているため、運輸業を営む事業者の皆様が省エネに取り組むことで、自社のコスト削減及び省エネ社会の実現に大きく貢献することができま

アイドリングの燃料消費量

例えば、2000cc車・ニュートラル・エアコンオフの場合で10分間に130ccの燃料を消費します。Dレンジ、エアコンオンでは、約2倍の250ccもの燃料を消費します。

エンジン	時間	NレンジでエアコンOFF	DレンジでエアコンON
2000cc	10分	10分/1日 130cc	10分/1日 250cc
		1年 47ℓ	1年 91ℓ

エコドライブと配送業務の効率化で「輸送のエコ」を実現

沖縄ヤマト運輸



〒901-0306
糸満市西崎町4-21-3
TEL. 098-840-3580

- <主な省エネ対策>
- ①安全・エコナビゲーションシステム「Neco-Assi」の導入
 - ②オープン型宅配ロッカーの設置
 - ③クロネコメンバーズ向けサービス

今回の「運輸業編」では、運送業を行っている「沖縄ヤマト運輸株式会社」の省エネ取組を紹介します。

取組のきっかけ・背景

沖縄ヤマト運輸株式会社では、宅急便などの輸送事業を通じてお客様の生活を支える一方、主に燃料として大量のエネルギーを消費し、地球環境に大きな負荷をかけています。そのため、「環境保護宣言」として「輸送のエコ」を掲げ、環境負荷の少ない運転に努め、地域社会から信頼されるサービスの提供を行っています。

主な取組

①「Neco-Assi（安全・エコナビゲーションシステム）」の導入

2020年3月から車載システム「Neco-Assi」を順次導入し、5月末にはほぼすべての車両（約420台）に設置が完了予定です。本システムの第一ポイントは、運転の「見える化」です。これまでドライバーの経験と勘に頼り実施していたセールスドライバーの運転データを見えるようにすることで、一人ひとりのドライバーに対して効果的な運転支援が可能となり、配送ルートの効率化により省エネを実現しています。

②PUDOステーション（オープン型宅配ロッカー）の設置

PUDOステーションは、県内ではスーパーや大学の38か所に設置され、24時間都合の良いタイミングで宅急便の受取りと「ヤフネコ！パック」のらくらくメルカリ便で発送することができます。PUDOステーションの設置を今後も拡大し、お客様にストレスを与えない集荷・配達と宅配便の課題である再配達を減らし、省エネとCO2削減を同時に行っています。



↑受取りの様子

大型トラックで各支店へ向けた横持の様子→



↓荷物の仕分けライン



↑PUDOステーション

③クロネコメンバーズ向けサービス

個人会員サービス（無料）のクロネコメンバーズにご登録いただいた方を対象に、「お届け予定eメール」や「ご不在連絡eメール」、さらには「ヤマト運輸LINE公式アカウント」でお荷物のお届け予定やご不在時のお届けをご連絡することができます。また、その場で受取り日時や受取り場所も指定することができるサービスなどがあり、お客様のご都合に合わせた集荷・配達を行うことができます。

改善結果と今後の取組

県内のセールスドライバーは一日に100個以上の荷物を配達していますが、今年導入する「Neco-Assi」で運転データを見える化し、省エネと業務効率化を行い、「地域社会へのサービスの提供に努めていきたい」と担当者には意気込んでいます。



エネルギー管理企画推進者の具志氏（右）とベース長比嘉氏（中央）と記念撮影

一般財団法人省エネルギーセンターによるおトクな支援情報

- 無料の省エネ診断
- 省エネのお悩み、何でも相談（相談窓口）
- 省エネ設備・機器導入費用補助支援

～次回予告～

省エネ最前線 Vol.6 飲食業編

